

# 1-2 茨城大学における 学びの姿勢



# 大学での学びの姿勢について



## 1. 責任と自由

- 大学では、高校までとは異なり自由な環境ですが、その分自発的な行動が求められます。授業の選択も、大学からの指示ではなく自分自身で行います。
- 大学には、高校のホームルームのような連絡の場はなく、重要事項や授業に関する連絡（休講・補講や教室変更など）は、主にWEB（教務情報ポータルシステム）や掲示でなされます。毎日自分でWEBや掲示板を確認し、必要な情報を得ることが必要です。掲示等を見落としたことによる不利益は、学生自身の責任となります。また、大学生は社会の一員であることを自覚してください。大学生には、責任ある大人の行動が求められます。事故や事件を起こさないこと、巻き込まれないこと、普段からそのための備えをしておくことが重要です。
- これらのことを理解した上で、新しく始まる学生生活に臨んでください。



## 2. 授業へ出席する際の注意点

授業へ出席する際の注意点といっても、ある意味特別なことはありません。しかし、あえて授業へ出席する際の態度について述べる意味は、これから本学で学ぶ皆さんに、改めて自らを管理することの重要性を認識してもらうために注意喚起をしたいからです。



具体的には次のような項目に注意して、自己管理をしましょう。



## (1) 時間管理

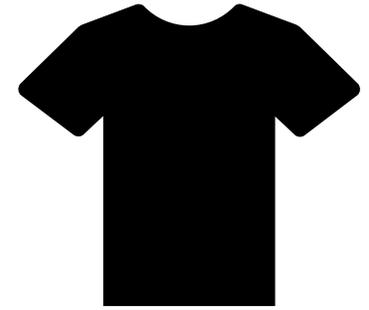
当たり前のことですが、遅刻はしないでください。  
途中からでは内容が理解できなかったり、グループワークなどにおいては他の学生に迷惑をかけること  
になります。定められている授業 開始時間までには教室に入り、授業開始を待つ態度を持つことが  
重要です。





## (2) 服装

大学は自分の住居スペースではなく、公共空間です。そのため、最低限清潔感のある服装を心がけるとともに、実験・実習を行う際の实用性や災害時の安全性の面も考慮し、自身で考えてください。



# 1-3 ディプロマ・ポリシー (カリキュラム・ポリシー)



# ディプロマ・ポリシー（DP）について



## ディプロマ・ポリシー（DP）とは？

茨城大学の教育目標は、「変化の激しい21世紀において社会の変化に主体的に対応し、自らの将来を切り拓くことができる総合的人間力を育成する」ことです。

そのために茨城大学の学生が卒業する時に身に付けているべき能力を、以下に示す 5 つの知識及び能力で構成されるディプロマ・ポリシー（卒業基準）として定めています。



# 茨城大学のDP



## 世界の俯瞰的理解

→ 自然環境、国際社会、人間と多様な文化に対する幅広い知識と俯瞰的な理解



## 専門分野の学力

→ 専門職業人としての知識・技能及び専門分野における十分な見識

⋮



・  
・  
・



## 課題解決能力・コミュニケーション力

→グローバル化が進む地域や職域において、多様な人々と協働して課題解決していくための思考力・判断力・表現力、及び実践的英語能力を含むコミュニケーション力

## 社会人としての姿勢

→社会の持続的な発展に貢献できる職業人としての意欲と倫理観、主体性

## 地域活性化志向

→茨城をはじめとする地域の活性化に自ら進んで取り組み、貢献する積極性



## DPと授業の関係



茨城大学の授業（卒業要件外科目を除く）は、すべてディプロマ・ポリシーに掲げる能力を身につけるために開講されます。

➡つまりは、ディプロマ・ポリシーに示す教育目標を実現することが本学の教育課程の編成方針となっていますので、各授業をとおして修得できる能力を意識しながら履修する授業を選択してください。

世界の俯瞰的理解



専門分野の学力

DP 5要素



課題解決能力  
コミュニケーション力



社会人としての姿勢



地域活性化志向



教育課程（授業）を  
通じて修得



卒業



（「学士」の学位）